

分野特化型カンパニークリエーション創出支援事業
(Blockbuster Creation)
プロジェクト公募要項

令和7年11月



スタートアップ戦略推進本部 戦略推進部

目次

1. はじめに・事業目的	3
2. 事業概要	3
3. 支援内容	4
4. 公募概要	5
5. 応募要件	6
6. 公募日程	7
7. 審査の流れ	11
8. 留意事項	12
9. 申込先	13
10. 問い合わせ先	14

1. はじめに・事業目的

近年、創薬領域では、スタートアップが担い手としての存在感を高めており、大手製薬企業とスタートアップとのオープンイノベーションによる新薬の創出が期待されています。特に、創薬分野のスタートアップエコシステムが発展している米国においては、ベンチャーキャピタル（VC）等が有望な研究シーズに狙いを定めスタートアップを立ち上げる手法である「カンパニークリエーション」が注目を集めています。

一方我が国では、カンパニークリエーションの手法を用いた創薬スタートアップの設立は限定的であり、創薬スタートアップを数多く輩出している米国との差が浮き彫りになっています。

そこで、東京都（以下「都」という。）では、これらを踏まえ、創薬分野におけるカンパニークリエーションのモデルケースの創出と、国内での定着を目指し、分野特化型カンパニークリエーション創出支援事業（Blockbuster Creation）を実施します。本公募要項は、本事業による支援を通じてカンパニークリエーションを目指すプロジェクトを募集するものです。

2. 事業概要

本事業では、カンパニークリエーションの手法が有効な創薬分野において、有望な研究シーズ等の事業化を目指すプロジェクトを募集・採択した後、当該プロジェクトに対して都が設置するアドバイザーリーボード等によるハンズオン支援等を実施し、リスクコントロールを図りながら、創薬スタートアップの設立や企業価値の拡大を目指します。本事業で採択された各プロジェクトを支援し、日本版のカンパニークリエーションのモデルケースの構築に寄与することを目指します。

【本事業の流れ】

- (ア) 都は、本事業の受託者（以下「事務局」という。）とともに、プロジェクトを公募します。
- (イ) 都及び事務局は、応募されたプロジェクトについて、外部有識者等により構成する審査・選定委員会において審査を行い、支援対象となるプロジェクトを5件（予定）採択します。
- (ウ) 都及び事務局は、採択されたプロジェクトを支援するため、有識者等からなるアドバイザーリーボードを設置し、プロジェクトに対する助言等の支援を提供します。また、支援期間中は採択されたプロジェクトに対して、都から助成金を支払うことがあります。

採択されたプロジェクトは、プロジェクト管理者を中心に、採択後から最長令和9年度

末までの約2か年度の活動期間を通じて、起業や企業価値の拡大を目指します。プロジェクト管理者は、活動にあたって適切にプロジェクトを管理し、都、事務局及びアドバイザリーボードに対し、定期・不定期でプロジェクトの進捗を報告します。なお、本報告等をもとにアドバイザリーボードによる達成状況等の評価が行われます。

【プロジェクトについて】

本事業におけるプロジェクトの実施体制は、プロジェクト管理者・シーズ保有者（研究者）・専門経営人材で構成されるものとします。ただし、専門経営人材に関しては、応募時点で必ずしも含まれている必要はありませんが、プロジェクト実施期間中に当該人材をプロジェクトに組み込むことを条件とします。なお、各用語の定義は以下のとおりです。

- ・ プロジェクト管理者：
プロジェクト全体の管理者として、プロジェクトの全体計画の立案、進捗管理等を実施する者
- ・ シーズ保有者：
創薬分野における有望な研究シーズに関する知見、知財等を保有する者
- ・ 専門経営人材：
プレシード又はシード期からスタートアップの設立又は Exit までの各フェーズで必要となる経営及び財務等の専門的な知見を有し、法人の設立や企業価値向上に寄与できる人材又はそのような人材になることが期待される人材

3. 支援内容

(1) アドバイザリーボードによる支援

採択されたプロジェクトに対して、都、事務局及びアドバイザリーボードが伴走支援を行います。

アドバイザリーボードは採択プロジェクトに対し、主に以下のような支援等を実施します。

- ・ プロジェクト進捗状況の確認及び助言
- ・ 専門経営人材等、プロジェクト実施体制構築に関するマッチング支援
- ・ プロジェクト管理者の求めに応じたハンズオン支援の実施（月1回程度）
- ・ 創薬コミュニティやVC等との接続支援

(2) その他の支援

都及び事務局は、上記に加えバイオ関連の国際的なイベントへの出展やプロジェクト成果の情報発信等の支援を実施します。

また、都は採択された各プロジェクトに対して令和8年度から令和9年度の最長2か年において、年間2,500万円を上限として、当該プロジェクトの運営に必要なチーム組成及びチーム運営に関する費用（研究開発に関する費用は含まない。）を助成

することがあります。ただし、当該助成は、東京都議会で令和 8 年度及び令和 9 年度の年度ごとの歳入歳出予算が可決された場合に限り実施するものであり、助成の詳細は今後決定します。

(3) 支援の中止について

プロジェクトの継続に重大な影響を与える恐れがある事由等が生じた場合には、アドバイザリーボードによるプロジェクトの進捗・達成状況等の評価・助言を受け、プロジェクトの支援継続の可否を判断します。支援の継続が困難と認められる場合には、事業期間中であっても、本事業における支援を中止します。

4. 公募概要

(1) 公募プロジェクトの対象領域

創薬シーズの新規性、独創性を踏まえ、カンパニークリエーションにより医薬品等として実用化を目指すプロジェクトを対象とします。

なお、本事業における創薬シーズとは、医薬品（再生医療等製品を含む）の開発に直接的に資する技術シーズとします。

(2) 応募可能プロジェクト数

プロジェクト管理者が応募可能なプロジェクト数の上限は 3 プロジェクトまでとします。

(3) プロジェクトの応募主体

プロジェクト管理者を代表者として応募してください。

(4) 求めるプロジェクト管理者像

本事業において求めるプロジェクト管理者像は以下の（ア）から（ウ）を満たす、VC（CVC も含む。以下同様。）、アクセラレーター、インキュベーター、大学・研究機関等を想定します。

（ア）市場（医療）ニーズ、既存技術や競合の状況、強みや優位性を踏まえ、マネタイズも意識した合理的な事業計画に基づき、社会的インパクトを持った創薬分野のカンパニークリエーションを目指すプロジェクトをけん引できる者

（イ）海外展開や Exit（株式上場、事業・会社売却等）等の展望を見据えた経営戦略を形成できる者

（ウ）上記の事業戦略、経営戦略に基づき、中長期のロードマップを描きつつ計画的に事業を実施できる者

(5) 公募・審査

「5. 応募要件」に記載する条件を満たす応募者から公募を受け、「6. 公募日程」及び「7. 審査の流れ」に沿って提案内容を審査し、プロジェクトを採択します。

(6) プロジェクト期間

採択の日から令和 10 年 3 月 31 日まで

(7) 応募者に求める取組

カンパニークリエーションの手法により、プロジェクトの事業化に向けた取組を推進するとともに、カンパニークリエーションの手法を国内で定着させるモデルケースとして、プロジェクトの経過や本事業期間中に得られた知見を都に報告するとともに、今後の創業エコシステムの発展に向けそれらを発信・波及させる活動に協力することを求めます。

5. 応募要件

(1) プロジェクト管理者は以下の全ての要件を備えていること

- ・ プロジェクトの代表者として応募に係る対応、調整等を円滑に実施できること。
- ・ 創業シーズが特定されており、プロジェクトの遂行に必要となる人員等を有した推進体制が構築されていること。
- ・ 創業分野でのカンパニークリエーションの実績を有している、または創業スタートアップへの支援実績（投資、インキュベーション、アクセラレーション等）があること。なお、プロジェクト管理者が法人設立間もない場合は、創業分野のカンパニークリエーションに向けた支援の方針が明確であること。
- ・ 日本に活動拠点を有する法人であること。
- ・ 以下のいずれかに該当すること。

① VC

本事業期間中または期間終了後に自らが出資することを見据えてプロジェクトに応募すること。

② その他機関（インキュベーター、アクセラレーター、大学・研究機関等）

VCからの投資意向のあるプロジェクトに応募すること。また、本事業期間中にVCからの出資を受けるために積極的な支援を行うこと。

- ・ 都や事務局と連絡調整を行う責任者を設置すること。なお、責任者は、原則としてプロジェクト管理者に常勤的に所属しており、日本国内に在住していること。また、日本語での業務上のコミュニケーションが可能であること。

なお、本事業によって支援したプロジェクトをもとに起業する場合には本店所在地を都内として登記すること。ただし、既に登記済みの場合には本店または支店の所在地を都内とすること。

(2) 全ての関係者が次のいずれにも該当していないこと

- ① 破産手続き開始の決定を受けて復権を得ない者
- ② 暴力団（東京都暴力団排除条例（平成23年東京都条例第54号。以下「暴排条例」という。）第2条第2号に規定する暴力団をいう。）に該当する者、又は法人その他

の団体の代表者、役員又は使用人その他の従業者若しくは構成員に暴力団員等（暴力団並びに暴排条例第2条第3号に規定する暴力団員及び同条第4号に規定する暴力団関係者をいう。）に該当する者

- ③ 法人事業税等を滞納している者
- ④ 都道府県、区市町村、公益法人等が実施する補助事業や助成事業において、不正等の事故を起こしたことがある者
- ⑤ 政治活動、宗教活動、選挙活動を事業目的とする法人
- ⑥ 都が本事業による支援を提供するにふさわしくないと判断する業務等を有する者

6. 公募日程

（１）公募スケジュール

公募スケジュールについては以下を予定しています。

項目	日程	備考
募集期間	令和7年11月4日（火） ～令和7年12月15日（月）	
質問書の受付期間	令和7年11月4日（火） ～令和7年11月28日（金）	
質問書への回答予定日時	令和7年12月3日（水）	
一次審査の実施（プレゼンテーション審査）	令和7年12月18日（木） ～令和7年12月25日（木）	日程が決定次第連絡いたします
一次審査結果の通知／二次審査の実施に関する案内	令和8年1月8日（木）頃	
二次審査の実施（プレゼンテーション審査）	令和8年2月2日（月） ～令和8年2月6日（金）	一次通過者に対し、日程が決定次第連絡いたします
採択者の決定・通知	令和8年2月下旬頃	

（ア）募集受付期間

令和7年11月4日(火)から同年12月15日(月)17時まで

（イ）説明動画

本事業の応募に関する説明については、募集開始後、同年11月21日（金）（予定）から、動画サイト上で公開いたします。

視聴を希望される方は下記「9. 申込先」の「説明動画申込先」記載のFormsに必要な事項を入力の上、お申込みください。

公開後、事務局より視聴用 URL とともにご連絡させていただきます。なお、説明動画について、公募期間終了後の視聴は不可とさせていただきます。

- ・ 対象者 : プロジェクト応募希望者及び関連する企業・団体等
- ・ 主な内容 : 事業概要、応募要件、審査の流れ、全体スケジュール等

(2) 質問の受付

本事業に関する質問については、原則として電子メールで受け付けます。下記アドレスまで電子メールでご連絡ください。質問の受付は令和7年11月28日(金)17時を締め切りとします。なお、質問の回答は同年12月3日(水)に HP 上で公表を予定しています。

メールアドレス : bbc@tohatsu.co.jp

なお、応募状況や審査内容に関する質問については、お答えいたしかねます。

(3) 応募書類の提出

以下の応募書類(※)に必要な事項を記入し、「9. 申込先」の【応募申込先】に、以下(ア)及び(イ)で指定する応募書類の電子データをご提出ください。

原本が紙でしか存在しないものについては、スキャンの上、PDF ファイルにてご提出ください(紙の提出は不要です)。

なお、応募書類の提出後、2日(土日祝日除く)経過しても、事務局より応募受付完了の連絡が届かない場合、「10. 問い合わせ先」まで電話にてご連絡ください(応募受付完了の連絡が到着するまでは、応募受付完了となりませんのでご注意ください)。

(ア) 一次審査応募書類

次頁に記載する応募書類をご提出ください。

(イ) 二次審査応募書類

次々頁に記載する応募書類をご提出ください。

なお、二次審査においては、事務局から知財や研究成果に関するエビデンス等の資料を必要に応じて求める場合があります、詳細は一次審査通過後にご案内します。

※ 応募様式は、本事業ホームページ(以下の URL)からダウンロードしてください。

URL : <https://www.tokyo-lifescience.metro.tokyo.lg.jp/>

【一次審査応募書類】

応募書類	提出	記載内容	備考
申込書	必須	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 基礎情報 プロジェクト管理者企業名、WEB ページ、会社設立年、所在地、電話番号、資本金、従業員数、代表者氏名、担当者氏名、担当者連絡先、主要な事業内容 等 	
企画書	必須	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 本事業および創薬分野におけるカンパニークリエーションへの理解 ✓ プロジェクト管理者の体制 ✓ プロジェクト管理者の経歴・実績 ✓ カンパニークリエーションに向けた取組実績、インキュベーション等の活動実績 ✓ 応募プロジェクト一覧 	<p>表紙 1 枚を作成</p> <p>企画書は上限 7 頁で作成(表紙は頁数に含めない)</p>
プロジェクト概要書	必須	<ul style="list-style-type: none"> ✓ プロジェクトの概要 創薬シーズの現況 (パイプライン、知財等)、事業化に向けた計画 (スタートアップの内容及び出口戦略) ✓ プロジェクトの推進体制 プロジェクト管理責任者等の経歴・実績 ※1、連携体制、必要な人材像の整理及び確保に向けた取組状況 	<p>プロジェクト単位で作成し、上限 1 頁</p> <p>※1 「プロジェクト管理責任者等の経歴・実績」は、別に作成して提出可能 (上限 2 頁)</p>
その他	必須	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 財務諸表 (必須) ✓ 出資意向確認書 (VC 以外の応募者について必須) 	

【二次審査応募書類】

応募書類	提出	記載内容	備考
事業計画書	必須	<ul style="list-style-type: none"> ✓ プロジェクト実施計画 <ul style="list-style-type: none"> ・ 創薬シーズの事業化に向けた全体計画及び本事業期間の実施内容とマイルストーン（定量的に評価できるもの） ・ 外部機関や各ステークホルダーを含めた詳細なプロジェクト推進体制 ・ プロジェクトの推進における課題分析及び解決に向けた取組み ✓ 創薬シーズの有望性 <ul style="list-style-type: none"> ・ 創薬シーズの技術的新規性・革新性、市場性及び市場優位性 ・ プロジェクトが目指すゴールの妥当性 ✓ プロジェクトの推進に向けた人材及びステークホルダー <ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクト推進にあたり必要な人材（専門経営人材等）とその役割 ・ ターゲットとするステークホルダーへのアプローチ状況・方法 ✓ 資金計画 <ul style="list-style-type: none"> ・ 必要資金、調達方法及び時期のほか、人件費等チーム組成に関する経費 	<p>サマリ 1 枚を作成</p> <p>事業計画書は上限 10 頁で作成 (サマリは頁数に含めない)</p>
研究成果資料	必須	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 論文、学会資料、特許出願・取得状況※2 ✓ 主要な研究データ（非公開データは概要レベルで可） ✓ 外部評価（受賞歴・第三者によるレビューなど） <p>※2 戦略上知財化していない場合は応募者の判断で作成・提出（必要に応じて求める場合があります）</p>	<p>サマリ 1 枚を作成</p> <p>研究成果資料は上限 3 頁で作成 (サマリは頁数に含めない)</p>

7. 審査の流れ

(1) 審査方法

有識者等で構成される審査・選定委員会において、一次審査と二次審査の二段階で審査（プレゼンテーション形式）を行います。

一次審査では、主に事業目的との整合性、プロジェクト管理者の適格性や推進体制等を審査します。二次審査では、各プロジェクトについて、プロジェクトの実現可能性、市場ニーズに与えるインパクト、シーズの優位性等を審査します。

なお、二次審査は一次審査を通過した応募者のみを対象として実施します。

詳細はご応募いただいた方に別途ご連絡します。

(2) 審査項目・審査基準

次の審査項目及び基準に基づき審査を行います。

【 一次審査 】

審査対象	審査項目	審査基準
プロジェクト 管理者	① 事業理解と企画内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業の趣旨を十分に理解し、事業主旨に沿った企画内容になっているか ・ 事業目的の達成に向けて課題を十分に理解し、意欲的に取組む企画となっているか
	② 管理体制・ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクト管理者として企画を実施するにあたり必要な管理体制を具備しているか（財務、機密保持等）
	③ 支援実績・事業化可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 創業分野でのカンパニークリエーション実績、創業スタートアップへの支援実績があるか、あるいはその方針が明確か ・ 本事業の実施にあたり、カンパニークリエーションの実現性を向上させる取組が期待できるか ・ 創業シーズの出口戦略を踏まえた計画を立案し、事業化に向けて的確な活動を実施できるか
	④ 個別プロジェクトにおける実施計画の適切性・妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 創業シーズの内容及び狙うべき市場とその背景などが明確になっているか ・ プロジェクトを推進するうえで十分な体制が構築されているか ・ プロジェクトを推進するうえで必要な連携体制（シーズを有する研究者・大学等との連携、シーズの事業化（国等の助成、共同研究等）に向けた連携、起業後の資金調達先との連携等）が構築されているか ・ プロジェクト計画概要と必要な人材像の整理及び確保に向けた取組の方向性は妥当か

【 二次審査 】

審査対象	審査項目	審査基準
プロジェクト	⑤ プロジェクト実施計画の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 起業後も含めた全体スケジュールが適切に定められているか。全体計画の中で現在の状況が明確に示されているか ・ 本事業期間内でのプロジェクトの進捗が期待できるか ・ プロジェクトの推進体制が適切か ・ ビジネス化・事業化・出口戦略を踏まえたプロジェクトの課題分析と解決方法が妥当か ・ 必要なステークホルダーが明確で、積極的かつ戦略的なアプローチが見込めるか
	⑥ 創業シーズの科学的・技術的意義及び市場優位性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保有するシーズや関連する技術、ビジネスモデルに競争力、新規性、革新性があるか ・ 市場に与えるインパクト、優位性（グローバル市場への展開可能性等）があるか ・ 事業化上のクリティカルなハードル（知財・薬事規制等）を分析し、対応を検討しているか ・ 科学的合理性や裏打ちするエビデンス、データの再現性など、技術の妥当性があるか
	⑦ プロジェクトにおける人材計画の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクトを推進するために必要となる人材又は人材像が具体的に示され、それらの確保に向けた計画が適切か
	⑧ 資金計画の適切性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業期間中及び事業期間終了後のプロジェクトにおける資金計画が妥当か（VC 等からの調達時期・調達額・使途が妥当か。国等助成金の活用予定があるか。チーム組成に係る人件費等が具体的に見積もられており、それが妥当か。）

（３）採択の決定

審査・選定委員会による審査を踏まえ、５件程度のプロジェクトを採択します。

8. 留意事項

- （ア） 採択プロジェクトは事業推進にあたり、本事業の公募要項及び各種関係法令等を遵守する必要があります。
- （イ） 本事業の内容・結果のうち公表可能な部分については、普及啓発のため、原則、都及び事務局により公表される予定ですので予めご了承ください。
- （ウ） 本事業から得た経験・知見を都が企画するイベント等で発信又は共有する機会等において、創業エコシステムの発展のために可能な範囲で協力いただきますので予めご了承ください。
- （エ） 以下の場合には審査対象外とさせていただく場合がございますので、予めご了承ください

さい。

- ・ 応募者が、法令等もしくは公序良俗に違反し、またはその恐れのある場合
- ・ 応募内容に不備がある場合
- ・ 応募者が、応募に際して虚偽の情報を記載し、その他都及び事務局に対して虚偽の申告を行った場合

(オ) 応募にあたってご提供いただく個人情報や機密を含む情報は、守秘義務を有する都及び事務局に必要な範囲で共有、利用されます。個人情報を含む情報は事前の承認なく都及び事務局以外の第三者に提供することはありません。

(カ) 本事業に関して、都は、事業推進に係る支援や課題解決、今後の展開等について、一切の保証を行うものではありません。

(キ) 3. 支援内容 (3) 支援の中止について に該当し、本事業による支援が中止されたことで生じた損害等に関して、都、事務局及びアドバイザリーボード（個人も含む）は賠償金等の支払いを一切行いません。

(ク) 応募書類の作成・提出については、以下の点にご留意ください。

■ 様式及び添付資料

申込書を除き、他の応募書類の様式は応募者の自由としますが、A4 サイズ横向きで作成してください。A4 サイズ横向きのファイルに両面印刷で綴じ込むため、その点留意してください。ただし、応募書類送付時には PDF 形式として送付してください。

■ 留意事項

- ① ページ番号を記載してください。
- ② フォントは自由としますが応募資料の本文記載は 10 ポイント以上としてください（図表等に関する文字の大きさはこの限りではありません）。
- ③ 使用する言語は日本語としてください。
- ④ 企画書の表紙には、プロジェクト管理者名のほか、表題として「分野特化型カンパニークリエーション創出支援事業 企画書」とご記載ください。

9. 申込先

【説明動画申込先】

URL : <https://forms.office.com/e/d8WsvnnQum> (Microsoft Forms)

【応募申込先】

URL : <https://forms.office.com/e/9Af44t8NCa> (Microsoft Forms)

10. 問い合わせ先

都は、本事業の運営や採択されたプロジェクトへのメンタリング、ネットワーキング、ブランディング等の支援について、事務局として以下の事業者へ別途業務委託を行っています。本事業への問い合わせは以下の事務局までお願いします。（審査経過・審査結果等に関する問い合わせには応じられません。）

【分野特化型カンパニークリエーション創出支援事業 事務局】

デロイトトーマツリスクアドバイザー合同会社（担当：木野内、杉浦）

電話番号：03-6213-1251

メールアドレス：bbc@tohmatu.co.jp